

機能一覧

障害管理/レポート

- メール / 音声 / ポップアップで障害通知
- 重要度別のしきい値の設定
- Windows イベントログ / Syslog / トラップ監視
- Syslog / トラップ送信
- ワークフロー（障害通知後の自動対応）〔図10〕
- 各種レポートの Excel・PDF 出力およびスケジュール

その他

- SNMP、WMI、NMAP、CLI を使用した装置登録〔図11〕
- 10000 以上の装置テンプレート
- カスタマイズ可能な SNMP 監視 / WMI 監視
- REST API を利用した外部のアプリケーションとの連携
- MIB ブラウザー、Ping、Traceroute、RDP、Telnet 等のネットワーク情報分析ツール
- データ保管先を PostgreSQL / MSSQL から選択可能
- Active Directory 認証によるログイン

動作環境

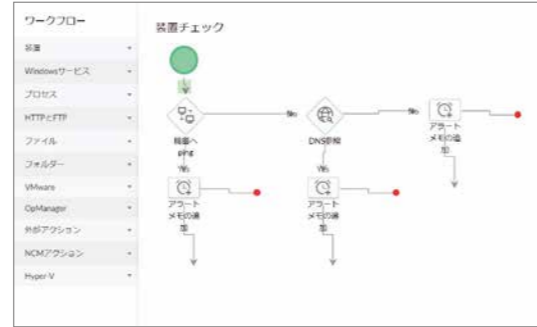
動作環境については、以下のホームページをご確認ください。

<https://www.manageengine.jp/products/OpManager/system-requirements.html>

参考価格

ライセンス		年間ライセンスの場合(サポート付)	通常ライセンスの場合(サポート付)
50 デバイスまでの監視		234,000円/年	初年度519,000円+次年度以降120,000円/年
100 デバイスまでの監視		410,000円/年	初年度910,000円+次年度以降211,000円/年
250 デバイスまでの監視		645,000円/年	初年度1,431,000円+次年度以降332,000円/年
500 デバイスまでの監視		939,000円/年	初年度2,082,000円+次年度以降484,000円/年
オプション	1 デバイスのファイアウォールログ可視化	147,000円/年	初年度358,000円+次年度以降104,000円/年
	15 インターフェースまでのトラフィック可視化	178,000円/年	初年度430,000円+次年度以降82,000円/年
	25 デバイスまでのネットワーク機器コンフィグ管理	133,000円/年	初年度293,000円+次年度以降69,000円/年
	250 スイッチポート & 250 IP アドレス	24,000円/年	初年度71,000円+次年度以降12,000円/年
	25 モニターまでのアプリケーション監視	161,000円/年	初年度387,000円+次年度以降65,000円/年

標準のログインユーザー数は、2ユーザーです

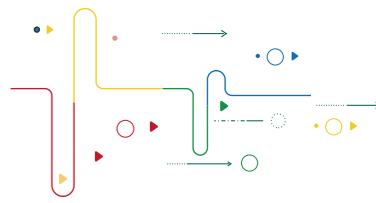


〔図10〕ワークフロー設定画面



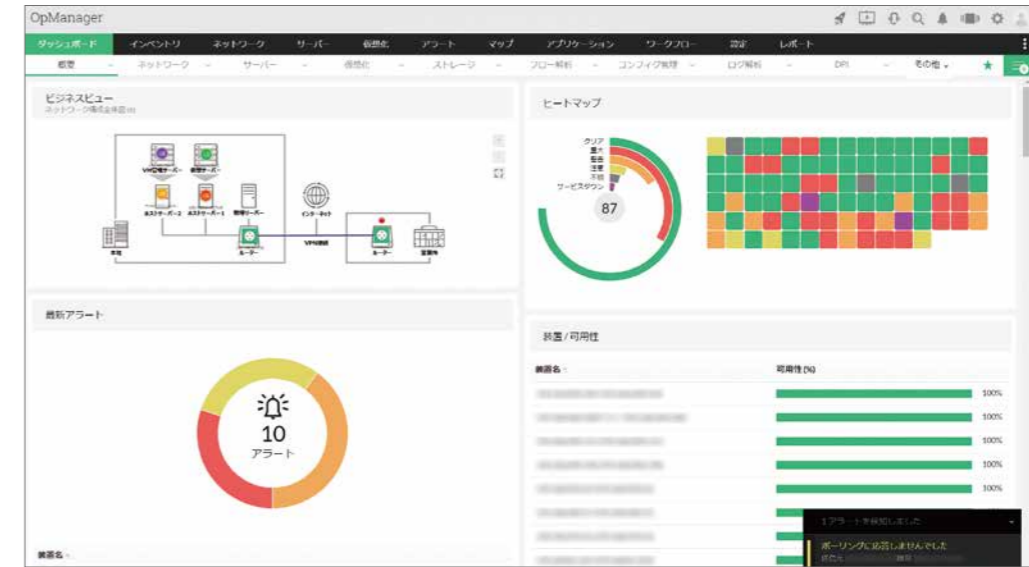
〔図11〕装置登録画面

ManageEngine
OpManager



サーバー・ネットワーク統合監視ソフト

「何か遅い」その原因を特定するための第一歩



〔図1〕ダッシュボード画面

ManageEngine OpManager (マネージエンジン オーピーマネージャー) は、物理/仮想/クラウドサーバー、ネットワーク機器、Syslog、イベントログの統合的な運用監視を実現する、コストパフォーマンスの高いサーバー・ネットワーク統合監視ソフトです。ITインフラの監視業務に不可欠な機能を網羅した本製品は、**日本国内ではこれまで2500ライセンス以上を販売し**、多くの企業に利用されています。多彩なレポート画面とドラッグ&ドロップで描けるマップビューが特長で、複雑なサーバー・ネットワーク環境やネットワークインターフェースの構成と状態を可視化し、IT運用管理における性能管理と障害管理業務を効率化します。

無料で製品を評価できます!

OpManager ダウンロード

検索

●本文中に記載されている会社、ロゴ、製品の固有名詞は各社の商号、商標または登録商標です。●このリーフレットの記載内容は、2021年8月リリース12.5現在の情報です。記載内容は事前の予告なしに変更する場合があります。●製品に関するご質問、ご購入は、下記までお問い合わせください。

製品提供元

ゾーホージャパン株式会社

〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-1 みなとみらいセンタービル13階

☎ 045-319-4612 (ManageEngine営業担当)
✉ jp-mesales@zohocorp.com

🌐 <https://www.manageengine.jp>

ManageEngine

Copyright©ZOHOO Japan Corporation. All Rights Reserved.

販売元

お問い合わせ先

特長

1 要件に応えやすい

マルチベンダー対応で監視対象も機能も充実。必要に応じて、クラウド環境やデータベースなどのミドルウェア、アプリケーションのパフォーマンスまで監視します。

2 構築しやすい

エージェントレス型。SNMP、WMI、NMAP、CLI を使用した 10000 以上の装置テンプレートを提供しており、システム構築の工数を削減します。

3 状態を把握しやすい

障害の原因特定に必要な情報収集を自動化し、グラフ表示やドラッグ & ドロップで描けるマップビューにより、**障害の影響範囲をすぐに把握**できます。

機能一覧

ネットワーク管理

- 死活監視 / 可用性監視
- トラフィック / ワイヤレスネットワーク監視
- ルーター / スイッチ / ファイアウォール監視
- オプション ファイアウォール / プロキシ ログ可視化 [図2]
- オプション トラフィック (NetFlow / sFlow) 解析 [図3]
- オプション コンフィグ変更管理 [図4]
- オプション スイッチポート管理
- オプション IP アドレス管理
- オプション Cisco IP SLA 対応の WAN RTT / VoIP 監視 (※1)

サーバー監視

- CPU、メモリー、ディスク監視 [図5]
- ハードウェア監視 (※1)
- ファイル / フォルダー監視
- Active Directory 監視
- MSSQL 監視
- MS Exchange 監視
- サービス監視 / Windows サービス監視
- プロセス監視
- URL 監視
- スクリプト監視
- ログファイル監視 (※2)

< 監視対象例 >

- Windows
- Linux
- Unix

- ストレージ監視

仮想サーバー監視

- 仮想化環境のホスト OS およびゲスト OS のパフォーマンス、CPU、メモリー、ディスク、ネットワークなど 50 項目を超えるリソースを監視

- ホスト OS のハードウェア監視

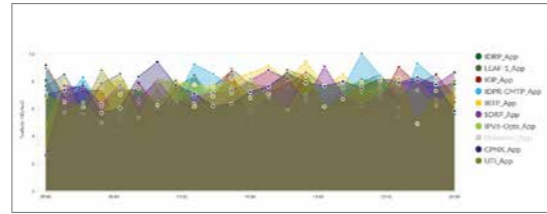
< 監視対象例 >

- VMware ESX , VMware ESXi
- Hyper-V
- XenServer
- Nutanix

(※1) 機器ベンダーが提供するエージェントが必要な機能
(※2) ManageEngine が提供するエージェントが必要な機能



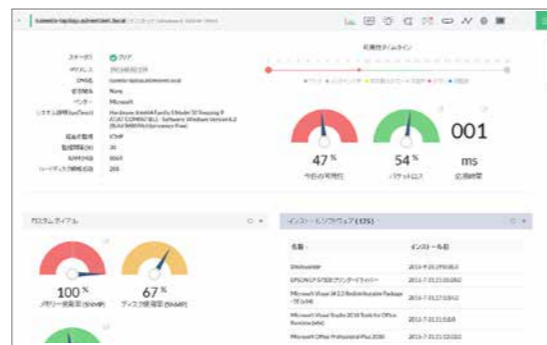
[図2]ファイアウォール ログ解析画面



[図3]トラフィック(NetFlow / sFlow)解析- アプリケーション毎の通信内訳確認画面



[図4]ネットワーク機器コンフィグ管理 - 差分確認画面



[図5]CPU、メモリー、ディスク監視画面

機能一覧

オプション アプリケーション監視

- データベースサーバー監視

< 監視対象例 >

- MySQL
- Oracle [図6]
- MS SQL
- PostgreSQL

- アプリケーションサーバー監視

< 監視対象例 >

- JBoss
- Apache Tomcat
- WebLogic

- Web サーバー監視

< 監視対象例 >

- Apache
- IIS

- Web サービス監視

< 監視対象例 >

- PHP
- SOAP Web サービス
- SSL サーバー証明書
- アプリケーション処理性能 (APM インサイト) (※2)
- エンドユーザー体感 (応答時間) (※2)

- クラウド監視

< 監視対象例 >

- Amazon EC2 [図7]
- Amazon RDS
- Microsoft Azure
- OpenStack

- その他

- データベースクエリ監視
- メールサーバー監視

可視化(マップ/ビュー)

- ダッシュボード [図1]
- CCTV ビュー [図8]
- ビジネスビュー (ネットワーク図)
- 3D ラックビュー [図9]
- L2/L3トポロジーマップ
- ヒートマップ
- vCenter Server に登録された装置のマッピング

(※1) 機器ベンダーが提供するエージェントが必要な機能
(※2) ManageEngine が提供するエージェントが必要な機能

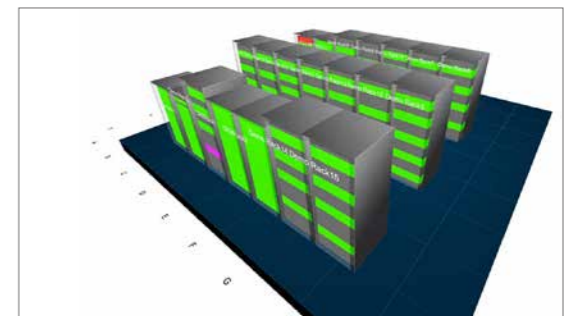
[図6]Oracleデータベースサーバー監視 - テーブルスペース情報確認画面



[図7]Amazon EC2監視画面



[図8]CCTVビュー画面



[図9]3Dラックビュー画面